



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月7日

上場会社名 株式会社東祥 上場取引所 東 名  
コード番号 8920 URL <https://www.to-sho.net/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 沓名 裕一郎  
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部課長 (氏名) 小林 徹哉 TEL 0566-79-3111  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年3月期第3四半期	29,577	54.9	4,851	64.2	4,894	59.1	2,294	121.6
2024年3月期第3四半期	19,096	14.4	2,955	14.5	3,076	19.6	1,035	35.8

（注）包括利益 2025年3月期第3四半期 3,244百万円（74.5％） 2024年3月期第3四半期 1,859百万円（33.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	59.90	—
2024年3月期第3四半期	27.02	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年3月期第3四半期	74,036	43,111	50.4
2024年3月期	74,219	40,318	47.4

（参考）自己資本 2025年3月期第3四半期 37,344百万円 2024年3月期 35,175百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
2025年3月期	—	2.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	3.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2025年3月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 2円00銭 特別配当 1円00銭

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	34,000	9.9	5,000	26.3	5,000	22.0	2,000	—	52.35

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社（社名）

除外 三社（社名） 連結子会社 : 東祥アセットマネジメント株式会社  
東祥投資事業有限責任組合

持分法適用会社：東祥東海リート投資法人

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期3Q	38,315,000株	2024年3月期	38,315,000株
2025年3月期3Q	9,093株	2024年3月期	9,093株
2025年3月期3Q	38,305,907株	2024年3月期3Q	38,305,988株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費について足踏み状態は見られるものの、緩やかな景気の回復基調が継続しました。今後も雇用状況の改善と、新政権発足後の政策的な所得改善及び消費拡大による景気回復基調が期待されます。一方で、今後も日銀の利上げが予想されるものの、米国をはじめとした対外諸国の高インフレと高金利政策等から、依然として為替変動リスクに晒されております。これと共に、海外地政学的リスクによる、国内のエネルギー価格、原材料費などの高騰や、人手不足による運営コストの増加は、企業経営にとって大きな向かい風となり、より一層慎重な運営が求められる経済環境が続いております。

こうした中、当社グループでは、マーケットの状況、顧客行動と、競合動向等の分析等に基づき、自社の組織能力と経営資源を最大限活用し、業績の回復と企業価値の向上を最優先課題ととらえ事業活動を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は29,577百万円(前年同期比54.9%増)、営業利益4,851百万円(同64.2%増)、経常利益4,894百万円(同59.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,294百万円(同121.6%増)となりました。

#### 【スポーツクラブ事業】

当社が運営する「ホリデイスーツクラブ」においては、会員定着のための接客力向上やスタジオプログラムの充実、広告宣伝の強化、並びにトレーニング機器入れ替えやジムエリアのリニューアルなどを実施し、既存店舗の収益力回復に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間のスポーツクラブ事業の売上高は9,414百万円(前年同期比3.7%増)となりました。なお、「ホリデイスーツクラブ大野城(福岡県大野城市)」が2024年12月28日をもって閉店したことにより、店舗数は101店舗となりました。

#### 【ホテル事業】

子会社であるA Bホテル株式会社が運営する「A Bホテル」においては、ホテル業界全体におけるインバウンド需要の回復もあり、宿泊需要が堅調に推移する中、特に観光立地の朝食メニューの見直しをする等、顧客満足度を向上しつつ、適正な価格調整を行い、宿泊稼働率の維持に努めました。また、人件費や資源価格高騰によるコスト増加を抑制するため経費削減に努めました。

この結果、前々期までに開業した既存33店舗の当第3四半期連結累計期間の平均宿泊稼働率は85.6%(前年同期比5.0ポイント減)となり、当第3四半期連結累計期間のホテル事業の売上高は8,170百万円(同9.0%増)となりました。なお、2024年9月三重県初出店となる「A Bホテル伊賀上野」を出店、同年11月に岐阜県4店舗目となる「A Bホテル中津川」を出店し店舗数は36店舗(4,683室)となりました。

#### 【不動産事業】

当社の不動産事業においては、所有する主力の賃貸マンション「A・C i t y」で、入居者のニーズに合わせた設備の充実やプランの設定など、満室経営に向けた施策を実施しました。前連結会計年度末に売却した収益用不動産に続き、当第3四半期連結累計期間においては、賃貸マンション2棟(105室)の売却、東祥東海リート投資法人(現:いちごプライベートリート投資法人)の投資口売却、収益用不動産の売却、賃貸マンション7棟(374室)の取得を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の不動産事業の売上高は11,991百万円(前年同期比375.5%増)となり、主に収益用不動産売却の影響により大幅な増収となりました。なお、所有賃貸マンション部屋数は52棟(2,120室)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ183百万円減少の74,036百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が6,158百万円、現金及び預金が5,130百万円増加したものの、販売用不動産が8,927百万円、投資その他の資産が2,372百万円、売掛金が420百万円減少したためであります。負債総額は、前連結会計年度末に比べ2,976百万円減少の30,924百万円となりました。主な要因は、短期借入金が1,513百万円増加したものの、長期借入金（1年内返済予定を含む）が3,872百万円減少したためであります。純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,793百万円増加し43,111百万円となりました。主な要因は、利益剰余金及び非支配株主持分の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月29日に公表いたしました、通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,577,464	21,707,670
売掛金	1,008,259	587,585
営業未収入金	167,014	355,525
商品	7,213	5,767
販売用不動産	8,927,430	—
貯蔵品	38,715	41,539
その他	354,383	429,252
貸倒引当金	—	△1,600
流動資産合計	27,080,482	23,125,741
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	54,440,447	57,729,144
減価償却累計額	△23,800,736	△24,628,438
建物及び構築物 (純額)	30,639,711	33,100,705
機械装置及び運搬具	2,009,974	2,023,891
減価償却累計額	△1,429,442	△1,512,302
機械装置及び運搬具 (純額)	580,531	511,588
工具、器具及び備品	1,567,466	1,599,149
減価償却累計額	△1,399,065	△1,433,128
工具、器具及び備品 (純額)	168,400	166,021
土地	7,211,986	10,793,502
リース資産	4,584,272	4,865,418
減価償却累計額	△1,741,869	△1,934,412
リース資産 (純額)	2,842,403	2,931,006
建設仮勘定	346,898	445,304
有形固定資産合計	41,789,932	47,948,129
無形固定資産	89,679	79,048
投資その他の資産		
繰延税金資産	396,013	222,320
その他	4,864,667	2,666,338
貸倒引当金	△11,760	△11,760
投資その他の資産合計	5,248,921	2,876,899
固定資産合計	47,128,533	50,904,076
繰延資産		
社債発行費	10,158	6,183
繰延資産合計	10,158	6,183
資産合計	74,219,174	74,036,001

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,048	250
短期借入金	130,000	1,643,000
1年内返済予定の長期借入金	4,390,901	3,866,144
未払法人税等	982,945	823,334
その他	3,505,354	3,290,797
流動負債合計	9,014,249	9,623,525
固定負債		
社債	5,000,000	5,000,000
長期借入金	12,877,696	9,529,953
リース債務	2,567,679	2,565,439
役員退職慰労引当金	948,690	874,830
退職給付に係る負債	107,924	117,161
資産除去債務	3,056,875	3,051,319
その他	327,717	162,262
固定負債合計	24,886,583	21,300,965
負債合計	33,900,832	30,924,490
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,580,817	1,580,817
資本剰余金	2,295,798	2,295,798
利益剰余金	31,288,501	33,460,926
自己株式	△8,148	△8,148
株主資本合計	35,156,969	37,329,395
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	18,290	15,025
その他の包括利益累計額合計	18,290	15,025
非支配株主持分	5,143,082	5,767,089
純資産合計	40,318,341	43,111,510
負債純資産合計	74,219,174	74,036,001

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	19,096,058	29,577,082
売上原価	14,753,279	23,201,155
売上総利益	4,342,779	6,375,927
販売費及び一般管理費		
販売手数料	312,310	337,568
役員報酬	232,719	210,625
給料及び賞与	262,401	279,359
退職給付費用	4,301	2,337
その他	575,689	694,570
販売費及び一般管理費合計	1,387,423	1,524,460
営業利益	2,955,355	4,851,466
営業外収益		
受取利息	786	1,784
受取配当金	2	2
受取手数料	94,653	78,909
受取賃貸料	32,530	38,681
持分法による投資利益	81,594	41,454
雑収入	36,879	31,565
営業外収益合計	246,447	192,397
営業外費用		
支払利息	83,927	90,874
雑損失	40,884	58,209
営業外費用合計	124,812	149,083
経常利益	3,076,990	4,894,780
特別利益		
関係会社株式売却益	—	89,487
特別利益合計	—	89,487
特別損失		
固定資産売却損	185	—
固定資産除却損	—	3,020
投資有価証券売却損	—	55,098
会員権売却損	24,300	—
その他	4,716	3,659
特別損失合計	29,201	61,778
税金等調整前四半期純利益	3,047,789	4,922,489
法人税、住民税及び事業税	1,091,795	1,499,623
法人税等調整額	95,311	175,099
法人税等合計	1,187,107	1,674,722
四半期純利益	1,860,682	3,247,766
非支配株主に帰属する四半期純利益	825,459	953,368
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,035,223	2,294,398



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,860,682	3,247,766
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△1,546	△3,264
その他の包括利益合計	△1,546	△3,264
四半期包括利益	1,859,135	3,244,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,033,676	2,291,133
非支配株主に係る四半期包括利益	825,459	953,368

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	スポーツクラブ 事業	ホテル事業	不動産事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	9,075,413	7,498,955	134,904	16,709,272	—	16,709,272
その他の収益	—	—	2,386,785	2,386,785	—	2,386,785
外部顧客への売上高	9,075,413	7,498,955	2,521,689	19,096,058	—	19,096,058
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	10,410	21,794	32,205	△32,205	—
計	9,075,413	7,509,366	2,543,484	19,128,263	△32,205	19,096,058
セグメント利益又は損失 (△)	△204,571	2,816,678	337,603	2,949,710	5,645	2,955,355

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額5,645千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	スポーツクラブ 事業	ホテル事業	不動産事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	9,414,835	8,170,864	9,982,752	27,568,452	—	27,568,452
その他の収益	—	—	2,008,630	2,008,630	—	2,008,630
外部顧客への売上高	9,414,835	8,170,864	11,991,382	29,577,082	—	29,577,082
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	25,335	19,656	44,992	△44,992	—
計	9,414,835	8,196,200	12,011,039	29,622,075	△44,992	29,577,082
セグメント利益	308,201	3,213,918	1,328,267	4,850,386	1,080	4,851,466

(注) 1. セグメント利益の調整額1,080千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	2,286,157千円	1,946,791千円